

令和2年度 全国学力・学習状況調査 対策のヒント【小学校国語】

※ 今年度、東京書籍の教科書を使用しているのは偶数学年のため、その「関連する主な教材」を記載しました。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域等	対策例の概要（国立教育政策研究所発行資料による）	関連する問題	参 考	教科書	学 年	時 期	関連する主な教材
1三	インスタント食品のよさについての【発表の様子】の□に、取材を通して分かったことを取り上げて書く。	目的や意図に応じ、取材内容を基にして、自分の考えをまとめる。	話すこと・聞くこと	自分の考えをまとめるためには、誰からどのような情報を聞き出し、その情報をどのように活用するのかのように、インタビューの目的を明確にもって取材することが重要である。目的に応じて、一番聞きたかったことを中心に自分の考えをまとめていくことができるように指導する。 その際、必要な情報を得るために、取材するのに適切な相手は誰かを考えさせる学習活動を取り入れることが大切である。また、聞き出したことは何かを中心にして、取材前の自分の考えと、取材で得た情報とを比べて自分の考えをまとめさせることも大切である。	H31 3三	・H31報告書 P48～58 ・H31授業アイディア例 P7～8	光村図書	5年 5年 5年 6年 6年	4月 5月 10月 5月 9月	教えて、あなたのこと きいて、きいて、きいてみよう よりよい学校生活のために 聞いて、考えを深めよう いちばん大事なものは
							東京書籍	6年 6年 6年	5月 9月 10月	友達の意見を聞いて考えよう 話し合って考えを深めよう 町の未来をえがこう
2一	プラスチックの3R週間を提案する【下書き①】の最初の□の内容を、どのように工夫して書いているのか、適切なものを選択する。	目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える。	書くこと	自分の考えを明確に伝えるためには、目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えることが重要である。文章の種類や特徴を踏まえた上で、自分の考え及び相手の理解が明確になるよう、文章の構成を工夫することができるように指導する。 特に、協力を依頼する文章においては、提案内容が相手に伝わるように、説得力をもって伝えるとともに、協力が必要な理由を明確にして書くことが大切である。	H30 B2一 H29 B2一 H28 B2三	・H30報告書 P60～67 ・H30授業アイディア例 P5～6 ・H29報告書 P64～73 ・H28報告書 P60～69	光村図書	5年 5年 5年 6年 6年	6月 10月 12月 6月 11月	みんなが過ごしやすい町へ グラフや表を用いて書こう あなたはどうか考える 私たちにできること 日本文化を発信しよう
							東京書籍	6年 6年	6月 11月	防災ポスターをつくろう 世界に目を向けて意見文を書こう
2二	プラスチックの3R週間を提案する【下書き①】の□に、【本の一部】からプラスチックがずっと残ってしまう理由を書く。	事実と意見とを区別して書く。	書くこと	説得力をもって自分の考えを伝えるためには、判断の根拠や理由を明確に示しながら自分の考えを述べるのが重要であり、本や文章等から必要な語句や文を適切に引用することができるように指導することが大切である。 その際、目的意識をもたせ、引用の必要性や効果を実感させること、情報の妥当性について考えさせる機会を多くもつことが大切である。また、引用は原文に正確に行うことや、引用した部分と自分の考えとの関係等を明確にすることに注意するようにし、引用した文章等の出典については必ず明記するとともに、引用部分が適切な量になるように指導することも大切である。	H29 B2二 H25 B2二	・H29報告書 P64～73 ・H25報告書 P56～64 ・H25授業アイディア例 P11～12	光村図書	3年 4年 4年 5年 5年 5年 6年 6年 6年	6月 10月 2月 6月 6月 10月 12月 6月 11月 11月	〔じょうほう〕引用するとき 伝統工芸のよさを伝えよう もしものときにそなえよう 〔情報〕目的に応じて引用するとき みんなが過ごしやすい町へ グラフや表を用いて書こう あなたはどうか考える 私たちにできること 〔情報〕調べた情報の使い方 日本文化を発信しよう
							東京書籍	4年 6年 6年	10月 6月 11月	くらしの中の「和」と「洋」について調べよう 防災ポスターをつくろう 世界に目を向けて意見文を書こう
2五	プラスチックの3R週間を提案する【下書き①】の中のAの文を、……部と……部とのつながりに気を付けて書き直す。	文の中における主語と述語との関係等に注意して、文を正しく書く。	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	主語と述語が適切な係り受けの関係となっていることが、伝えたいことを相手に正確に伝える上で重要であることに気付くように指導する。 主語と述語との関係については、表現するときだけではなく、文章を読むときにも強く意識できるようになることが大切である。また、書くことの学習とも関連を図り、児童が自分で書いた文や文章を、主語と述語との関係に注意しながら、丁寧に読み返していく習慣を付けることも大切である。	H30 A5 H27 A2二	・H30報告書 P37～39 ・H30授業アイディア例 P3 ・H27報告書 P28～31	光村図書	3年 3年 3年 4年 4年 4年 4年 4年 5年 5年 6年	6月 10月 12月 5月 6月 2月 2月 2月 6月	気持ちをこめて「来てください」 修飾語を使って書こう たから島のぼうけん お礼の気持ちを伝えよう 新聞を作ろう つながりに気をつけよう もしものときにそなえよう 伝わる表現を選ぼう 文の組み立て
							東京書籍	4年 4年 6年	6月 9月 2月	お願いやお礼の手紙を書こう 文の組み立てと修飾語 言葉の学習をふり返る
3三	「金色の足あと」を読み、木村さんが、【ふせん③】で正太郎が感動したと考えている内容として適切なものを選択する。	登場人物の相互関係に基づいた行動を表す叙述から、心情を捉える。	読むこと	物語等を読む際は、時間や場所、問題状況等の設定、情景や場面の様子の変化、主人公等の登場人物、登場人物の性格や行動、会話及び心情の変化、事件の展開と解決等の基本的な構成要素を、叙述を基に理解した上で、想像を豊かにしながら読むことができるよう指導する。 中学年までは、一人一人の登場人物の行動や性格に基づき、場面の展開に即して変化する気持ちを中心に捉えさせるようにするが、高学年では、登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、そのことによって、内面にある深い心情も合わせて捉えさせるようにすることが大切である。	H27 A6	・H27報告書 P41～43	光村図書	3年 3年 3年 3年 3年 4年 4年 4年 4年 4年 5年 5年 5年 5年 6年 6年 6年	4月 6月 9月 12月 3月 4月 6月 9月 12月 3月 4月 7月 9月 3月 4月 9月 3月	きつつきの商売 まいごのかぎ ちいちゃんのかげおくり 三年とうげ モチモチの木 白いぼうし 一つの花 ごんぎつね ブラタナスの木 初雪のふる日 なまえつけてよ カレーライス たずねびと 大造じいさんとガン 婦り道 やまなし 海の命
							東京書籍	4年 4年 4年 4年 6年 6年 6年 6年	4月 6月 9月 11月 2月 4月 6月 9月 11月	こわれた千の楽器 走れ 一つの花 ごんぎつね 世界一美しいぼくの村 サボテンの花／生きる 風切るつばさ 海のいのち ヒロシマのうた
3四	木村さんが、「金色の足あと」の……部を……部ア、エと関係付けて読み、【ふせん④】のように書いた理由の説明として適切なものを選択する。	複数の叙述を関係付け、登場人物の心情について自分の考えをまとめる。	読むこと	高学年では、登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、そのことによって、内面にある深い心情も合わせて捉えること、象徴性や暗示性の高い表現や内容等に気付き、自分の考えをまとめることができるよう指導する。 その際、色や情景等の描写から受けるイメージを交流すること等が考えられる。また、一つの場面の叙述だけを対象とするとどまらず、複数の場面の叙述を相互に関係付けながら読むことができるようにすることが大切である。	H30 A4 H29 A4一 H29 B3三	・H30報告書 P32～35 ・H29報告書 P34～38、P74～81 ・H29授業アイディア例 P7～8	光村図書	5年 5年 5年 5年 6年 6年 6年	4月 7月 9月 3月 4月 9月 3月	なまえつけてよ カレーライス たずねびと 大造じいさんとガン 婦り道 やまなし 海の命
							東京書籍	6年 6年 6年 6年	4月 6月 9月 11月	サボテンの花／生きる 風切るつばさ 海のいのち ヒロシマのうた